



文京 白ばら

第 73 号

文京区明るい選挙推進協議会

文京区選挙管理委員会

〒112-8555 文京区春日1-16-21

☎ 5 8 0 3 - 1 2 8 7

題字 和田 清



写真 令和3年10月31日執行 衆議院議員総選挙 投票所の様子
若年層の方も立会人をしています！

若年層の声

投票立会人を経験して

辻 まひろ

私は十月三十一日に行われた衆議院議員総選挙にて、初めて投票立会人を務めさせていただきました。

立会人の業務を通じて実感したことは、有権者が正しく選挙権を行使できるように、多くの方々がご尽力くださっているということです。特に今回の選挙では三回投票があったため、状況を見ながら誘導を工夫されている姿が印象に残りました。選挙権を行使できることの有り難みを改めて感じる瞬間でもありました。

投票所では開場前から投票のために並ばれる方、選挙公報を手に熟考される方など、様々な有権者の方の様子を目にしました。このことは私自身の選挙及び政治に対する向き合い方についても考え直す機会になったように思います。今後、より多くの方々にも政治に関わる一員としての自覚を持ち、選挙権を大切に行使していただきたいと感じました。

7月には 参議院議員選挙が 予定されています。





令和三年衆議院議員総選挙の結果

衆議院議員総選挙をめぐる情勢

昨年の夏に東京都議会議員選挙が執行され、東京五輪・パラリンピックも開催されました。秋には、前首相の自民党総裁としての任期と衆議院議員の任期が近かったため、自民党総裁選挙と衆議院議員総選挙の日程について様々な報道がなされました。新型コロナウイルス感染症の感染状況等も踏まえて、現行法制上最も遅い11月への延長や、衆議院議員の解散を伴わない任期満了での選挙などの情報が飛び交いました。

その後、新首相に関する記者会見で、衆議院の解散や公示・総選挙の日程の意向表明があり、一気に選挙モードに突入しました。現行憲法下で任期満了後の衆議院議員総選挙は初めてで、準備をしていたものの、解散から選挙期日までが過去最短期であり、想定していた選挙期日より前倒しされました。極めてタイトなスケジュールの中、推進委員をはじめ、関係各位の並々ならぬご協力をいただき、何とか無事に乗り切ることができました。ことを、心より、深く御礼申し上げます。

衆議院議員総選挙の執行と結果

引き続き新型コロナウイルス感染症で社会情勢が不安定な中での執行となりました。

また国政選挙において初めて特例郵便等投票制度も導入され、様々な情勢の中、選挙が執行されました。

今回も東京23区26市における投票率第1位を記録

小選挙区、比例代表とも文京区が東京23区26市の投票率見事第1位となりました。東京都・国政選挙において、平成29年の衆議院選挙から連続での記録となりました。

文京区（小選挙区選出）の投票率ですが、65.06%となり、前回同選挙の61.54%を上回りました。東京都全体（小選挙区選出）の投票率は、57.21%と前回同選挙の53.64%を上回る結果となりました。投票率から見て取れるように、今回は令和初・現行憲法下初など注目される選挙であったこともあり、投票率上昇に寄与したと考えられます。また、若年層の文京区の投票率を、前回同選挙と比較すると、10代で53.75%から60.08%に、20代でも43.39%から50.32%に上昇しました。選挙出前授業や模擬投票など若年層へのアプローチが投票率上昇に繋がったのではないかと考えられます。更なる投票率上昇を目指すべく、啓発活動に根気強く取り組んでまいります。

衆議院議員選挙の23区投票率 (%)

区名	小選挙区選出	順位
千代田区	61.23	2
中央区	58.45	9
港区	54.36	20
新宿区	56.00	18
文京区	65.06	1
台東区	57.51	11
墨田区	56.46	13
江東区	58.73	6
品川区	58.66	8
目黒区	58.70	7
大田区	56.06	16
世田谷区	60.34	4
渋谷区	56.11	15
中野区	56.72	12
杉並区	60.86	3
豊島区	56.35	14
北区	59.46	5
荒川区	56.03	17
板橋区	54.95	19
練馬区	57.66	10
足立区	50.91	23
葛飾区	53.28	21
江戸川区	51.68	22
東京都平均	57.21	

Vサポ活動報告

前回の報告と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、定例会議も対面での開催ができず、オンラインで会議をしています。衆議院議員総選挙の執行が予定されていましたが、公示や選挙期日など日付が決定されないまま、選挙の啓発活動について話し合っており、急な選挙期日の決定により、普段取組んでいるグッズのデザインは出来ませんでしたが、学生が愛用している付箋「フィルム付箋」を啓発グッズとして選定しました。また、SNSでも、投票日当日はじめ、期日前投票や不在者投票の説明などの情報を発信しました。このように活動が制限される中においても、衆議院議員総選挙の若年層の投票率UPを目指し、できる範囲での活動を模索して実行しました。

まだ啓発活動を行うには、厳しい状況が続いています。同世代が選挙に興味をもち、投票率がUPするよう頑張っていきます。夏の参議院議員選挙に向けて、メンバー同士で意見を出し合い、工夫して啓発に取り組みますのでお楽しみに！



Vサポ選定のフィルム付箋 (早く街頭啓発できますように！)



よくわかる政治と選挙のはなし（白ばらセミナー）講演会

令和3年12月11日（土） 区民センター3A会議室で開催

本年も新型コロナウイルス感染症対策として、来場者の皆様へのマスクの着用・検温・手指消毒のお願い、観客席の間隔を空けて定期的な換気を行うなど、十分な感染対策を講じた上での開催となりました。

【第一部】基調講演

講師：関西学院大学教授 村尾 信尚氏 『私たちの暮らしと政治』

第一部は、ご自身の体験談を交え、現在の日本の政治の在り方や世界との比較、税金の使われ方などについてのご講演でした。選挙に出馬されたことにも触れ、投票という行為（選択）は、普段の生活の中でも行われている行為ではないか、日本の将来について考えてほしいと若い方も巻き込んでお話をしてくださいました。来場者からも大変ご好評で、あっといふ間の75分間でした。

【第二部】若者フォーラム〜私が創る、日本の未来〜

進行役の林氏を中心に、異なる若年層啓発グループに所属する3人の登壇者と第一部講師の村尾信尚氏を交えて、「〜私が創る、日本の未来〜」と題して、パネルディスカッションを行いました。若年層が抱える思いや世の中の問題について、各々がもつ考えを述べ、若年層啓発グループでどのような活動をしているか意見交換を行いました。その後、若年層の選挙への意識の低さや政治に対する関心の低さについて、どのように意識を変えていけるかを熱く語り合いました。政治を難しく考えず、身近なところ・身の回りのことを変えていくことも政治参画の一つであり、簡単な事柄についても変えていくための話し合いが大切だと村尾氏から助言をいただきました。今後、若年層の政治参画には若年層と政治や選挙のつなぎ役の存在が必要になるなど、活発な話し合いがなされ、盛況の中での閉会となりました。



コーディネーター
林 大介氏（模擬選挙推進ネットワーク事務局長／
浦和大学社会学部准教授）

- パネリスト
- 青木 花連氏（学生団体ivote）
 - 西山なつ美氏（特定非営利活動法人DAKKO）
 - 清永 未貴氏（文京Vote Supporters）

永年功労者表彰

今年度の東京都明るい選挙推進大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりましたが、明るい選挙推進運動永年功労者として、10年表彰を1名の方が受賞されました。長年にわたるご尽力とご活躍に、心から感謝申し上げます。

明るい選挙推進運動永年功労者

《10年表彰》

磯川地区 野口 静枝 委員

地区別座談会及び 管外視察の中止

今年度の地区別座談会は衆議院議員総選挙の準備期間と日程が重なったため中止とさせていただきます。

また、管外視察につきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、見学先において、団体予約を中止しておりました。また、衆議院議員総選挙の準備期間と重なっていたことも踏まえて、管外視察につきましても中止とさせていただきます。

らびー



湯島地区
石川 良宣

昨年は投票する人も立ち合いの人もマスク、お互い目で「大変ですね。」のアイコンタクト状態でした。

年明けホッとしたのも束の間、前年を超えるコロナの猛威。早く収束を願うばかりです。

今年も参議院議員選挙の予定、コロナ禍は避けたいのですが、政治・選挙は休むことは出来ません。選挙は国民の日々の生活を維持し、より良い社会にする為の手段です。

その為の一歩は政治に国民の声を、直接反映させる唯一の大事な参加権であり、参加券でもあります。

その大事な一票を出来るだけ投票してもらうには、「雨にも負けず、コロナにも負けず。」明るく選挙を推進し、投票率を上げることがです。

今年も頑張りましょう。



明るい選挙啓発ポスターコンクール審査結果

同コンクールは、「明るい選挙」の推進と若年層への啓発を兼ねて、毎年行っています。
作品は、これから作成するリーフレットなどに活用する予定です。

文京区優秀賞一覧



都立工芸高等学校1年 坂下 友香さん



都立工芸高等学校1年 島崎 歩実さん



都立工芸高等学校1年 松尾 典珂さん



都立工芸高等学校1年 浅賀 水月さん



文京区立第九中学校3年 寄金 久興さん



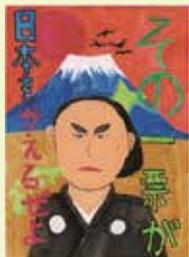
文京区立第三中学校2年 比田井 基さん



文京区立茗台中学校2年 萱谷 月花さん



文京区立千駄木小学校5年 伊澤 宏哉さん



文京区立千駄木小学校5年 碓井 煌己さん



文京区立本郷小学校4年 箸方 心美さん



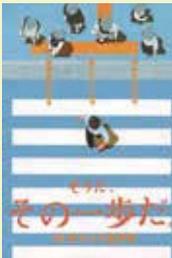
都立工芸高等学校1年 早坂 夏子さん



都立工芸高等学校1年 広田 茶菜さん



都立工芸高等学校1年 丸山 紗知さん



都立工芸高等学校1年 福島 葉夏さん



都立工芸高等学校1年 米倉 怜さん



都立工芸高等学校1年 平田 煌士さん

文京区入選受賞者 (敬称略)

小学生の部		
学校名	学年	氏名
指ヶ谷小学校	1	山中 玲奈
	5	下窄 真紀
	5	高岡 歩
千駄木小学校	5	周 雅詩
	5	福田 健司
	5	山村 実乃
本郷小学校	1	柏木 春音

中学生の部		
学校名	学年	氏名
第八中学校	2	松岡 修大
	3	秋谷 紗瑛
	3	桑原 爽太
文林中学校	3	松本 ゆの
	3	三ツ川裕珂
茗台中学校	2	並木 理恵
本郷台中学校	1	高浪 千愛

応募者：区内の小・中・高校生 応募総数：218点

ポスターコンクール協力校（感謝状の贈呈）：

区立千駄木小学校、区立第十中学校、都立工芸高等学校

区の審査：最優秀賞1点、優秀賞：16点、入選：14点

東京都と全国（中央）の審査：

優秀賞2点（うち1点は全国審査で「公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞」受賞）、入選3点

編集後記



コロナウイ
スの変異株であ
るオミクロン株
が、これまでに

経験したことのない爆発的な感染
により急激に拡大しております。
感染対策においても試行錯誤の
状態で、どのようにして社会機能
を維持したら良いの不安な状況
のなか、自然災害、強烈な寒波で
普段余り降らない地方にも降雪が
続いて被害が多発しております。
本年の夏には、参議院議員選挙
の執行が予定されております。
明るい選挙推進協議会、ならび
に選挙管理委員会の広報誌である
「文京白ばら」が、投票率の上昇
に繋がり、棄権しないように啓発
活動をしていくと思っております。

(武田 文夫 記)

選挙人名簿登録者数(3月1日現在)

男性 86,711人
女性 98,093人
合計 184,804人

《編集委員》

内田 尊子・片岡 哲子・小守 正平
船田 和子・石川 良宣・田上 弘子
武田 文夫・富所由紀子・小野 朋子

(地区順)